

第 17 回全国障害者スポーツ大会（愛顔^{えがお}つなぐえひめ大会）
バスケットボール競技実施要領

1 競技規則

平成 29 年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの構成は、コーチ 1 名、アシスタント・コーチ 1 名、マネージャー 1 名、選手 12 名以内とする。ここでいうコーチとは、ゲーム中実際にチームを指揮する者を指す。
- (2) コーチ、アシスタント・コーチ、マネージャーが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合、選手の数は選手を兼ねるコーチ、アシスタント・コーチ、マネージャーを含めて 12 名以内とする。
- (3) 男女別にチームを構成する。

3 競技方法

- (1) 試合は、男女別トーナメント方式で行い、3 位決定戦を実施する。また、トーナメント戦以外に、交流戦を実施する。
- (2) トーナメント戦の試合時間は、10 分クォーター制とし、第 1 ピリオドと第 2 ピリオドの間及び第 3 ピリオドと第 4 ピリオドの間にそれぞれ 2 分のインタヴァルをおく。第 2 ピリオドと第 3 ピリオドの間に 10 分のハーフタイムをおく。
- (3) 交流戦の試合時間は、10 分ハーフとし、第 1 ピリオドと第 2 ピリオドの間に 2 分のインタヴァルをおく。第 2 ピリオドには、公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則の第 4 ピリオドのルールを適用する。

4 服装等

- (1) 出場選手は、濃色と淡色（白色）の 2 種類のユニフォームを用意し、原則として組合せ番号の若いチームが淡色（白色）のユニフォームを着用すること。ただし、2 試合目以降については、両チームの協議により、ユニフォームの色の濃淡を変更することができる。
- (2) 背番号は、0、00 及び 1 から 99 までの番号を使用し、審判とスコアラーにはっきりと分かるように付けること。
- (3) パンツの長さはひざ上までとし、ひざ頭にかかってしまう長さのパンツは認められない。

5 試合球

試合球は、公益財団法人日本バスケットボール協会検定球、男子は 7 号球（モル

テンGL7X)、女子は6号球(モルテンGL6X)とし、主催者が用意する。

6 組合せ

組合せは、平成29年8月に開催する^{えがお}愛顔つなぐえひめ大会競技会運営調整会議において、主催者が関係者立会いのもとに代理抽選のうえ決定する。

7 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行い、優勝チームに優勝杯を、3位までのチームに賞状と、それぞれの選手にメダルを授与する。

8 チーム・ベンチ

チーム・ベンチは、組合せ番号の若いチームをオフィシャル席に向かって右側とする。

9 その他

- (1) 平成29年10月27日(金)に監督会議を行う。なお、監督会議の時間及び場所については別途通知する。
- (2) 開始式、表彰式に参加する選手は、原則として、ユニフォーム又はジャージのいずれかにチームで統一し着用すること。
- (3) チーム・ベンチ・エリアには、選手、コーチ、アシスタント・コーチ、マネージャー及び主催者が認めた者以外は入ることができない。
- (4) アリーナ内には、チーム・ベンチ・エリアに入る者のほか、主催者が認めた者以外は入ることができない。ただし、車椅子使用者及びその介助者等は、指定された場所で観覧及び応援することができる。
- (5) 会場内の秩序については、競技役員の指示に従うこと。
- (6) 練習は定められた場所で安全に留意し、主催者の指示に従って行うものとする。
- (7) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。